

八女の土で器を作って楽しもう

資源を活かして原料から作ってみる会

資源を活かして原料から作ってみる会

1. 団体の概要

○設立の目的

モノのあり方を再構築し原材料から完成までの流れを実体験することにより、これからの社会でのモノづくりについてまたその作ったモノを活かす方法について考察し提案していくことを目的とします。

○これまでの実績

「八女の土で器を作ってみよう」という事業で、原料を入手するところから器を焼いてお茶会の茶碗として使うというプログラムを3年間行いました。

○団体の構成員

5名

○設立年月日

2020 年 4月 1日

2. 活動の内容

○活動の目的(目標)

縄文時代から続いている八女の地での営みを、「八女の資源のみでモノづくりを完結できる」ということを、広く認知してもらうことを目標とします。

○活動の概要(どういったことをするか)

八女で自然から収穫した材料により器を焼き、自作の器で八女茶を楽しみます。

2. 活動の内容

○活動のスケジュール

日 程	活動内容	活動場所	参加者数
2024.02.03	八女の粘土を掘る	八女市上陽町	6人
2024.02.04	粘土づくり・器づくり	八女市上陽町	6人
2024.02.17	窯づくり	八女市上陽町	6人
2024.02.18	窯たき	八女市上陽町	6人
2024.03.10	お茶会	まる舎茶房	26人

令和5年度 市民との協働によるまちづくり提案事業 活動事例報告

○活動の様子



土堀り



粘土にする



窯をつくる



器をつくる



窯たき



八女古典茶話

資源を活かして原料から作ってみる会

3. 活動の成果

○土を掘って器を作るWSは、参加費が高額なためか、参加者が一人しかあつまりませんでした。

その為、最後のお茶会の参加費を予定の3,000円から3,500円にして、全体の予算の調整をしました。

○最後のお茶会は、定員いっぱいの20名の参加者を集めることができました。

○八女茶だけではなく、黒木町にある平安時代の窯跡や焼物についても、参加者と一緒に学びあうことが出来ました。

○講師お二人をお迎えして開催したお茶会は2時間ほどの動画を記録しました。

○お茶と焼物と八女の歴史を、学ぶことが出来る記録になったと思います。

○八女の景色を別に撮影して、30分程の動画にまとめられたらいいなと考えています。

4. 今後に向けて

○より多くの方々に認知してもらうには、モノづくりの工程より、まずは活動を知ってもらうことが大切だということに気が付きました。

○今後はお茶会に講師をお招きして、八女の文化や歴史と共に、モノづくりの面白さや可能性について学ぶ時間を作っていきたいと思います。

○お茶会を「八女古典茶話」と名付けて、八女の文化や歴史に詳しい講師に方をお招きして、お話を聞きながらお茶をのむ時間を企画したいと思います。

○またそのお話の内容を動画に記録して、ネットで発表できるように記録しておきたいと思います。